

経営比較分析表

宮崎県 三股町

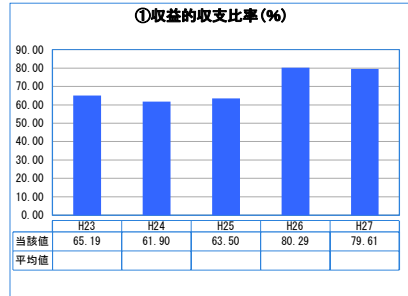
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.16	82.86	3,245

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,012	110.02	236.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,597	0.95	1,681.05

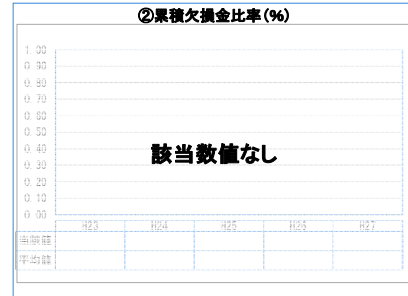
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

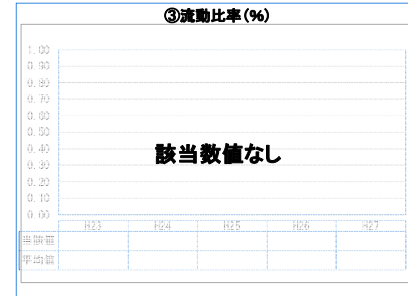
1. 経営の健全性・効率性



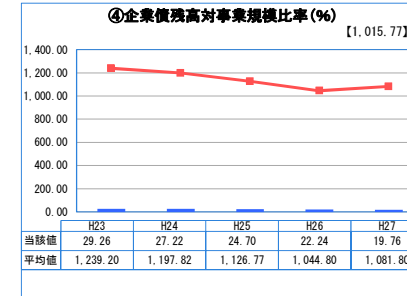
「単年度の収支」



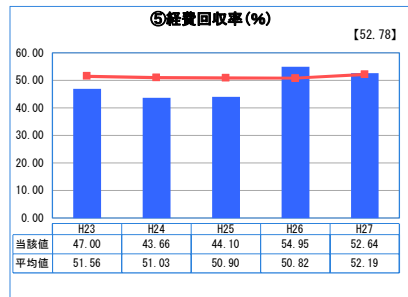
「累積欠損」



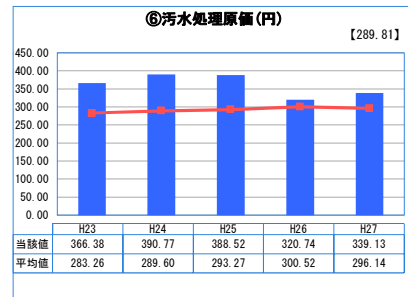
「支払能力」



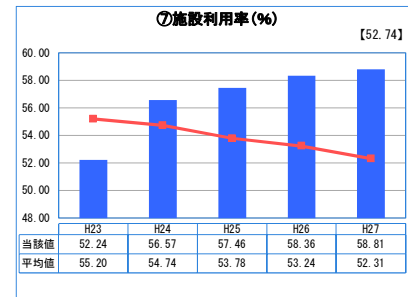
「債務残高」



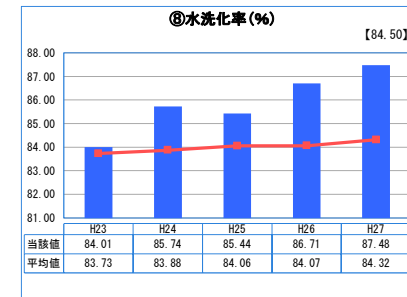
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

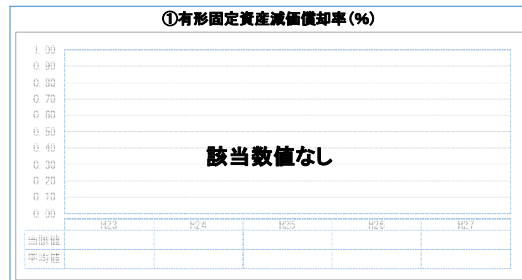


「施設の効率性」

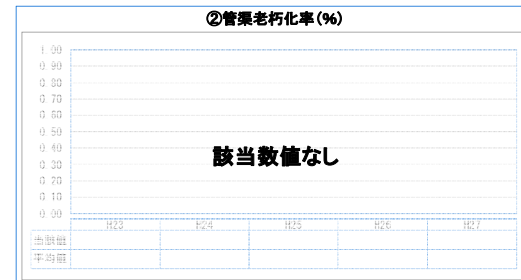


「使用料対象の捕捉」

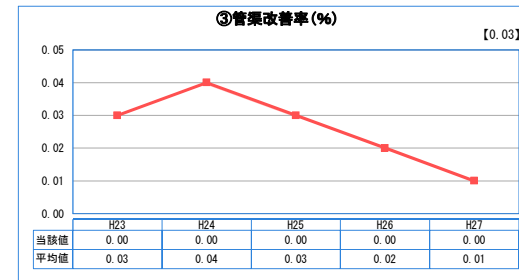
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の農業集落排水は平成12年度に施設整備が完了し、平成13年度から供用開始しています。①「収益的収支比率」は、100%を下回っており、経営の健全性については改善が必要です。しかし、平成27年度は処理場施設の大きな修繕があり横ばいとなっていますが、今後は起債償還金の減少により、「収益的収支比率」は改善されていくと思われます。また④「企業債残高対事業規模比率」は、一般会計繰入金により賄われている状況ですが、今後の起債償還金の減少に伴い改善されていくと思われます。⑤「経費回収率」は類似団体平均値と同等ですが、使用料金の設定は適切なため、汚水処理費の改善が必要となります。⑥「汚水処理原価」は、類似団体平均値より上回っていますが、今後の有水量の増加は見込めないため、汚水処理費の軽減が必要となります。⑦「施設利用率」については、類似団体平均値を上回っていますが、更に効率性の改善を検討する必要があります。⑧「水洗化率」については、高い水準にあります。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超えている管渠はありませんが、処理場においては徐々に修繕が増えてきており、老朽化への対応が急務な状況となっています。そこで平成25年度の作成した施設最適整備構想計画（長寿命化）に基づき施設の長寿命化を図っていくことが重要となります。

全体総括

経営の健全性を高めるためには、適切な使用料金の設定が必要ですが、本町の料金設定は適切なため、改善点としては汚水処理費を軽減する検討が必要となります。また、施設の老朽化対策として、施設最適整備構想計画に基づき整備を行い長寿命化を図ることにより、効率性の改善を進める必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。